

ご挨拶

記録的な猛暑もようやく収まり秋の気配を感じるようになりましたが、この夏の暑さが皆様の生活にも影響を及ぼさないかと心配しております。

さて、9月7日尖閣諸島沖で中国漁船が海保の巡視船に衝突する事件が発生いたしました。中国は近年東シナ海、南シナ海で領有権を主張、強硬姿勢をとり周辺国と摩擦を起こしていますが、このたびの展開に非常に危機感を感じております。

冷静な対応をとるという配慮も、こと領土保全に関しては強いメッセージと見通しがなければ弱気な姿勢と受け取られ今後さまざまな場面に影響しかねません。

9月28日には、日露両国が「第二次大戦集結65周年に関する共同声明」を発表、「対日」で結束し自らを正当化する歴史観を堅持していることを表明しました。また同日メドベージェフ・ロシア大統領はカムチャッカ地方で「近く北方領土を訪問する」強い意欲を示すなど日本を牽制する動きが相次いでいます。この件では日本政府から訪問回避を要請したことも明らかになり実行には至っておりませんが、一筋縄ではいかない国々に日本という国のゆるぎない姿勢を示し続けることが必要です。

領土保全は一地域の問題ではなく国としてどう領土を守るかの問題です。早急に議論を深めなければなりませんし、政府やメディアには一過性のニュースとしてではなく、国民の領土への認識を高め内外へアピールしてゆくことを改めて訴えてたいと考えています。

支部長 白田

10 / 10 (日) あきあじまつり会場にて 北方領土返還要求署名啓発活動を実施します。 みなさんのご参加を お願いいたします。



あきあじまつり会場で署名と啓発活動を実施します。会員同士の貴重な意見交換も！
昼食用意します。

暖かい服装でお越しく下さい。

【本別海あきあじまつり会場】

10:00 ~ 13:00

8/23 後継者語り部事業 尾岱沼

(大阪府)の高校生など45名が8月23日「北方領土視察研修」のため別海町に訪れました。別海広報9月号でも紹介されたとおり毎年「北方領土返還運動支援」のために町に寄付されています。

白崎青年部長が四島の歴史、父母らの生活、返還運動などについて概ね45分間講話を行いました。



8/25～27北方領土返還要求キャラバン隊派遣「北海道東北国民大会」へ

復活後3度目の後継者キャラバン隊には、上月支部理事、白崎青年部長、荒木、五百木青年部理事の4



名を派遣。今回は道央の苫小牧、室蘭、伊達、小樽を回り自治体表敬訪問や署名活動を行ない、最終日は札幌市で「北方領土返還要求北海道

東北国民大会」決意表明を行いました。



関係者との意見交換・懇談会の出席

- 7/21 多田副知事との懇談会 根室市 白田支部長
- 9/21 衆議院特別委員会との意見交換 根室市 高橋副支部長
- 9/29 小寺外務相欧州局長との懇談会 根室市 高橋副支部長
- 10/4 馬淵内閣府特命担当大臣との懇談会 根室市 白田支部長

今後の事業予定

後継者代表者活動促進全国会議・セミナー 札幌市 10/16、17
白崎部長、池田副部長、荒木理事が出席予定。

講演「ロシア情勢と北方領土交渉」NHK解説主幹
連盟の基本方針について、各支部の活動報告ほか

北方領土問題現地青年の集い 根室市11/13、14 ~後日青年部に案内

親睦パークゴルフ大会開催 7/11 尾岱沼

今年も、7月11日快晴の下で親睦パークゴルフ大会を開催しました。3回目となる今回は、元島民と後継者、家族の26名が参加しました。さわやかな風のなかプレーしたあと、公園に移動しジスキャンで親睦を深め遅くまで話の花を咲かせました。支部長杯はS



さんへ(36ホール115点)準優勝はSさん(117点)という結果でした。

青連協主管 北方領土青少年セミナー開催 7/25 羅臼町

今年は、別海町西春別駅前・上春別地区の小学生24名を含む72名が国後島を間近で見て、その後学習会に参加しました。

新聞報道から～尖閣事件

28日付のシンガポールの有力紙ストレーツ・タイムズは、尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件で強硬姿勢を貫く中国について、「日本だけでなく東南アジアでも自らのイメージを傷つけた。-中略-中国が平和的発展路線に疑問を生じさせるなら、東南アジア諸国はしつこい中国から国益を守る最良の方法を本気で考えざるを得なくなる」と指摘した。(9/29読売)